

2002～2004年度ベストティーチャーを選定



上野 誠也

所属部局職
環境情報研究院 教授
工学部担当学科
建設学科
(海洋空間のシステムデザインコース)
主な学部担当授業科目
数学・力学演習
宇宙システム設計論
航空宇宙工学の基礎
航行制御論
航空機力学
基礎振動論



竹村 泰司

所属部局職
工学研究院 助教授
工学部担当学科
電子情報工学科
主な学部担当授業科目
磁気工学
基礎回路理論
基礎回路理論
基礎回路理論演習



谷 和夫

所属部局職
工学研究院 教授
工学部担当学科
建設学科
(シビルエンジニアリングコース)
主な学部担当授業科目
地盤地質学
地盤工学
資源と地盤環境
土木工学と社会



森下 信

所属部局職
環境情報研究院 教授
工学部担当学科
生産工学科
主な学部担当授業科目
コンピュータ科学入門
機械力学
バイオメカニクス
応用機械設計製図



渡邊 正義

所属部局職
工学研究院 教授
工学部担当学科
物質工学科
主な学部担当授業科目
物質科学
高分子化学
電気化学

はじめに

本学工学部は、工学部における教育内容の向上および教育者としての大学教員の地位向上を図ることを目的として、教員の教育に関する業績を評価し、褒賞を初めて行いました。賞の名称は、ベストティーチャー賞(BT賞)です。

教員業績調査からBT賞受賞者選定までの主な流れ

- (1) 2005年3月18日
「教員の教育褒賞制度について」工学部代議員会承認
- (2) 2005年4月～5月
工学研究院教員業績調査の実施、環境情報研究院工学部担当教員の【学部教育】業績調査の実施

- (3) 2005年7月～9月
ユニット評価委員によるBT候補者の推薦

- (4) 2005年10月～11月
BT候補者の書類選考、面接、投票

- (5) 2005年12月19日
BT賞受賞者5名の表彰

BT賞の概要

- (1) 受賞資格者
受賞資格者は工学部に兼務を命ぜられた本学専任の教員
- (2) 受賞者数と受賞時期
 - 1) 受賞者は3年に1回決定され、各回5名以内
 - 2) 初回の受賞者は、2005年度の工学部教授総会において、2002～2004年度ベストティーチャー(BT 2002～2004)として表彰
- (3) 褒賞
褒賞は、表彰状および法人運営費一般財源30万円(受賞者1名につき)
- (4) 選出方法
 - 1) 受賞者の選考は、BT選考委員会が行いました。
 - 2) BT選考委員会の委員構成は、工学研究院評価委員会委員(工学研究院長、工学部主事、評議員、部門長、評価担当研究院長補佐、教員業績評価委員会委員長)および工学部に兼務を命ぜられた環境情報研究院選出評議員(研究院長を含む)とし、委員長は工学部主事としました。
 - 3) 工学研究院長に指名された各学科等の教員業績評

価委員(ユニット評価委員)は、候補者をBT選考委員会委員長に推薦する。候補者の推薦数は各学科等(評価ユニット)所属教員数の10%未満としました。

4) 候補者の推薦に当たっては、推薦書および授業の工夫に関する資料を添付しました。

5) 候補者の推薦に当たっては、学生による授業評価アンケート結果を考慮しました。

6) 各学科等で独自の推薦基準があれば、推薦書に推薦基準に関する記述を含めました。

7) BT選考委員会は書類選考によりBT候補者を選出し、面接を行い、投票により受賞者を決定しました。

BT賞受賞者の選出を終えて

書類選考で選出されたBT候補者は、BT選考委員会での面接において「授業等に対する取り組み」についてプレゼンテーションを行いました。その内容は、多くの教員にとって今後の授業改善の参考になる事項を数多く含むものでした。これらをBT選考委員会内に留めたのでは、BT賞受賞者が蓄積してきた学部教育に関する工夫が十分に活用されない恐れがありました。そこで、広く工学部を担当する全教員がBT賞受賞者の「授業等に対する取り組み」を聞く機会を改めて設けることとし、2006年2月20日の工学部教授総会で5名の受賞者の中の2名のBTに講演をしていただきました。さらに、2006年2月24日の工学部FD(ファカルティディベロップメント)委員会主催による講演会では、BT賞受賞者による公開模擬授業とパネルディスカッション「学生に伝えたいこと」が行われました。

今回のBT賞は主として学部教育に関する賞の性格を有しています。学部教育に関しては、「学生による授業評価アンケート」を実施しており、評価に活用できる基礎資料の蓄積がありました。一方、大学院教育に関しては、この種の基礎資料の蓄積がほとんどないのが現状です。大学院教育に関しては、大学院教育に対する評価のあり方が今後の検討課題であります。

なお、工学部の初代BT5名の表彰式は、2005年12月19日に行われ、工学部長から表彰状と副賞が授与されました。